

# 令和3年度森林環境譲与税の使途

# 成田市の森林環境譲与税の使途内訳

(単位：千円)

事業名	事業内容	決算額	財源内訳			
			森林環境譲与税	基金取崩額	基金運用益	その他
重要インフラ施設周辺森林現況調査委託料	重要インフラ施設周辺の森林整備を実施するにあたり、実施個所を選定するために現況調査を実施した。	150		150		
重要インフラ施設周辺森林整備業務委託料	重要インフラ施設周辺の森林について、被害木や倒木の恐れがある樹木の伐倒・搬出、跡地への植栽を実施した。	14,713		7,893		6,820
里山保全ボランティア研修業務委託料	森林整備の担い手不足を解決するため、里山活動に興味がある方や自然と触れ合う機会を持ちたい方を対象に、里山活動についての研修を実施することで、担い手の育成を図った。	378		378		
森林クラウド回線使用料	林地台帳などの森林関連情報を県と共有し、業務効率化を図るため、森林クラウドを使用した。	83		83		
森林環境整備基金積立金	森林の整備及びその促進に関する施策に備え積み立てた。	14,598	14,597		1	

# 令和3年度に実施した主な事業

- ▶ 成田市では、令和元年の台風による大量の倒木が、道路や電線などの重要インフラ施設に多大な被害をもたらしたため、本市が主体となって、重要インフラ施設の倒木被害を未然に防止するための森林整備を進めていく方針。
- ▶ 令和3年度においては、以下の取組を実施。
  - ・市内4か所において、県の災害に強い森づくり事業を活用し、被害木や倒木の恐れがある樹木の伐倒・搬出、跡地への植栽を行った。
  - ・令和5年度の整備箇所を選定するため、16.3kmの市道において、市道に接する森林の現況調査を行った。
- ▶ 令和4年度も同様に、整備箇所を選定のため現況調査を実施するとともに、重要インフラ施設沿いにおいて、年間1haを目標に森林整備を実施する。

## 事業内容

- ・前年度に実施した現況調査の結果を踏まえ、市内4か所において、被害木や倒木の恐れがある樹木の伐倒・搬出、跡地への植栽を行った。

【事業費】14,713千円（うち譲与税7,893千円）

【実績】特殊地拵え1.17ha 被害材運搬436.4t 植栽1.00ha

## 取組の背景

- ・令和元年の台風では、市内において大量の倒木が発生。道路や電線が遮断し、停電や交通障害の原因となった。



（事業実施前）



（事業実施後）

## 工夫・留意した点

- ・災害に強い森づくり事業の採択要件を満たせないような小規模な森林や広葉樹林については、市の単独事業として、森林環境譲与税を活用し、森林整備を実施することで、効果的・効率的な森林整備を実現した。

## 左記の写真の整備場所（桜田地先）

Googleマップから引用





- ▶ 成田市では、森林所有者の高齢化や住民の移転等により、荒廃した森林が増加しており、担い手の確保が急務となっている。
- ▶ そこで、里山活動に興味がある方や自然と触れ合う機会を持ちたい方を対象に、里山活動についての研修を実施することで、担い手として育成を図る方針。
- ▶ 令和3年度は、市内外延べ17名の方に対して竹の伐採などの現場実習や里山活動の見学会などを組み込んだ全4回の研修を実施。
- ▶ 令和4年度も同様に研修を実施予定であり、また、現場実習後も里山活動を実施できるようなフィールドを選定し、研修生の活動場所を確保することで、継続的な里山活動を支援する。

## □ 事業内容

市内外17名の方に対し、全4回の研修を実施。研修の内容は、里山活動についての座学や見学会、森づくりのプランニング、竹の伐採などの現場実習である。

【事業費】378千円（全額森林環境譲与税）

【実績】・全4回実施。

・市内外17の方が参加

※研修生は全4回の研修に参加することで、里山活動に必要なスキルを取得できる内容とした。

## □ 研修の様子



（見学会の様子）



（現場実習の様子）

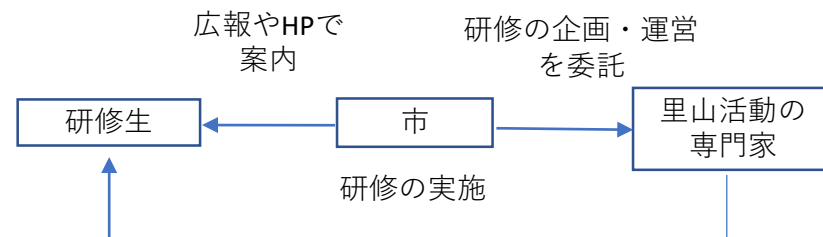


（現場実習の様子）



（現場実習の様子）

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- ・座学だけではなく、現場実習や見学会を組み込むことで、里山活動に必要なスキルやノウハウを習得しやすい研修内容とした。
- ・すでに活動する里山保全ボランティア団体を研修生に紹介することで、研修生が里山活動に参加しやすいよう工夫した。